

AutoPIPE 2023 (v23.0.0)

インストール ガイド

A. ライセンス管理システム.....	1
B. パッケージインストーラのダウンロード.....	2
C. インストール.....	5
D. CONNECTION Client のサインイン.....	7
E. AutoPIPE の起動.....	8
F. CONNECTION Client でサインインできない.....	9
G. OpenPlant Isometrics Manager について.....	10
H. 表示言語の切り替え.....	11
I. アプリケーション更新の通知について.....	12
J. KHK-2 アドオンの追加購入について.....	13
K. Nuclear 版へのアップグレードについて.....	14

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社



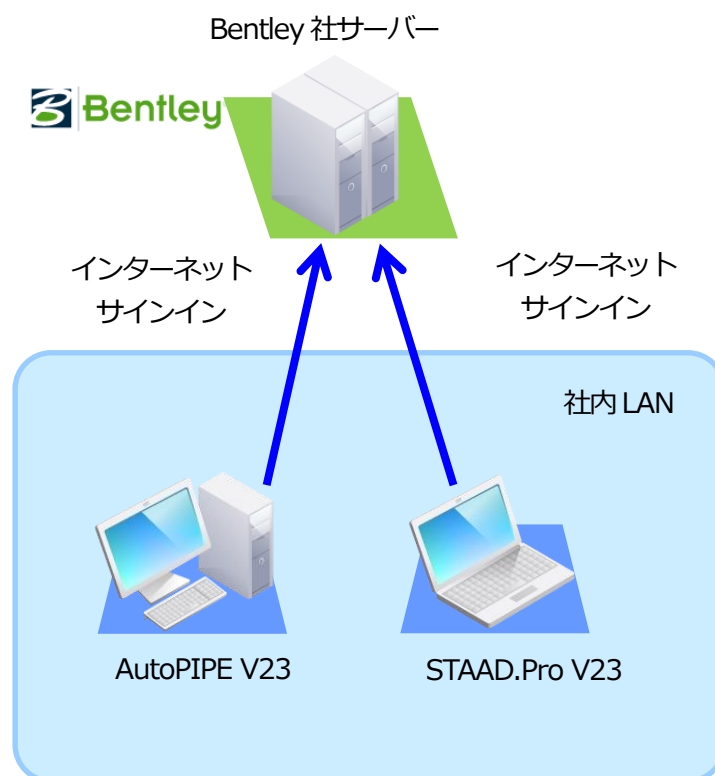
※KHK-2 アドオンを追加購入の場合は、「J. KHK-2 アドオンの追加購入」をご参照ください。

※Nuclear 版へのアップグレードの場合は、「K. Nuclear 版へのアップグレード」をご参照ください。

A. ライセンス管理システム

ベントレー社（Bentley Systems）から提供される製品のライセンスは、「SES ライセンス」と呼ばれるネットワークライセンスによって管理されます。AutoPIPE や STAAD.Pro のご利用に際して、当該マシンをインターネットへ接続して、開発元の Bentley から提供されたアカウント（あるいは登録済みユーザの IMS アカウント）にて Bentley のサイトへサインインすることが必要となります。

Bentley 社のサーバーへサインイン（SES ライセンス）



B. パッケージインストーラのダウンロード

AutoPIPE のインストールファイルは、開発元（Bentley Systems）のサイトよりダウンロードして入手します。ここではそのダウンロード方法を示します。

※ AutoPIPE CONNECT v12.X がインストールされている PC において、v12.X をアンインストールせずに、AutoPIPE 2023 をインストールして、共存させることができます。

※ 画面等は 2023 年 4 月現在のもので変更になる場合があります。

1. 以下の Bentley のダウンロードサイトにアクセスします。

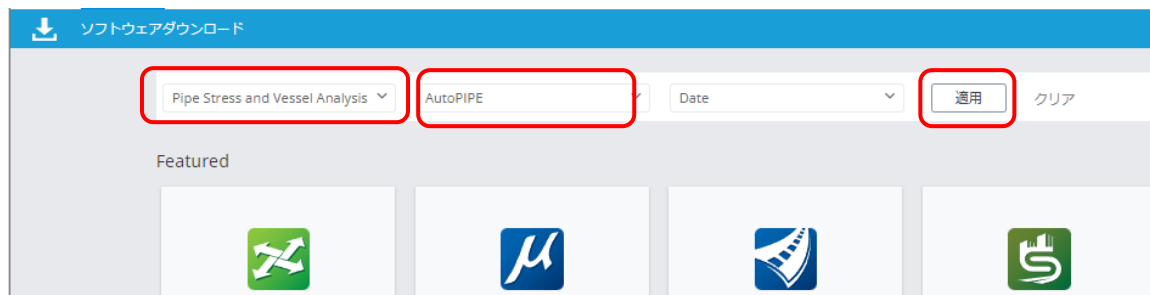
<https://softwaredownloads.bentley.com/ja/>

Bentley から提供されたアカウント（あるいは、ダウンロード権限のある登録済み IMS アカウント）とパスワードを入力して、「サインイン」をクリックします。

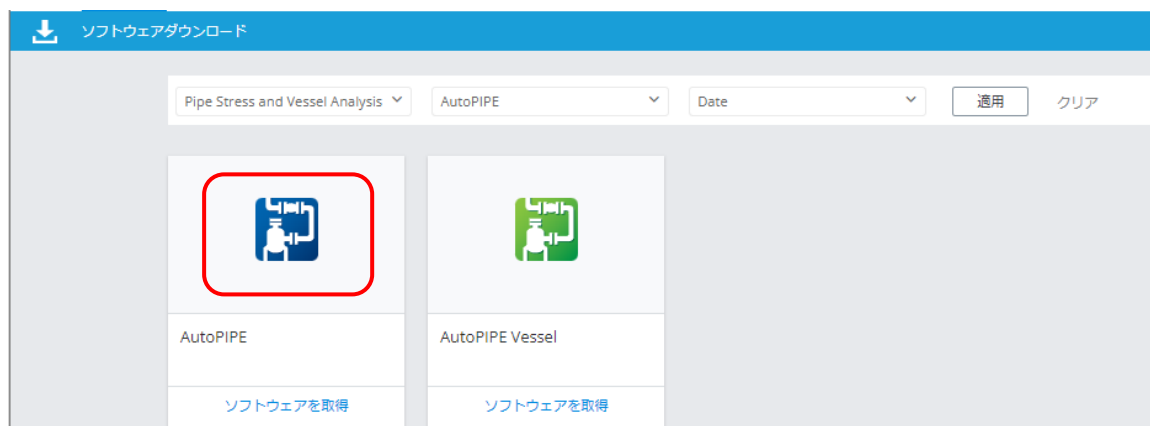
E-Mail アドレスを入力して「次を」を押し、続いて、パスワードを入力して「サインイン」を押してください。

※) ユーザ様社内の管理者が上記のサインインとダウンロードの権限を持っており、登録済み E-Mail と初期パスワードがベントレー・システムズから電子メールにて送付されています。管理者は社内にダウンロードの権限を持ったユーザを作成することが可能です。登録済み E-Mail 等が不明の場合は貴社内の管理者もしくはベントレー・システムズにお問い合わせください。

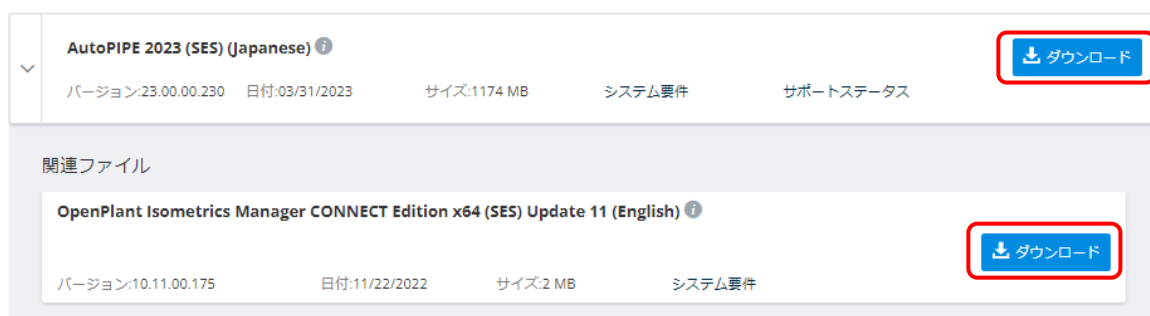
2. アプリケーションのダウンロードサイト「ソフトウェアダウンロード」が開きます。Product Line から「Pipe Stress and Vessel Analysis」を選択、Brand から「AutoPIPE」を選択して、[適用]をクリックします。



3. 検索されたプロダクト名が下側に表示されます。「AutoPIPE」をクリックします。



4. AutoPIPE の関連モジュールが表示されます。必要なモジュールの [ダウンロード](#) をクリックします。



ダウンロードするモジュール：

- AutoPIPE 2023 (SES) (Japanese)： AutoPIPE のプログラム本体
- OpenPlant Isometrics Manager CONNECT Edition x64 (SES) Update 11 (English)： 簡易アイソ図出力（ダウンロード・インストールは任意）

ダウンロードしたファイルの名前は以下のようになります。

- Setup_AutoPIPEx86_23.00.00.230.exe： 日本語版 AutoPIPE
- Setup_OpenPlantIsometricsManagerx64_10.11.00.175.exe： 簡易アイソ図出力に使用する OpenPlant Isometrics Manager（ダウンロードとインストールは任意）

- ※) バージョン番号やリリース日等は更新される場合があります。
- ※) OpenPlant Isometrics Manager は、英語版の 64 ビット版のみの提供となります。
- ※) 保存先フォルダは OS や設定により異なります (例 C:¥Users¥ <ユーザ名> ¥Downloads)。

C. インストール

以下の手順にしたがって AutoPIPE を使用するクライアントマシンへインストールしてください。
AutoPIPE のインストールは、必ず、**管理者の権限** を持った Windows のユーザアカウントで行ってください。

■① AutoPIPE 本体をインストールします。

- ・ダウンロードした Setup_AutoPIPEx86_23.00.00.230.exe をダブルクリックして、AutoPIPE のインストールを開始します。
- ・インストーラのガイドにしたがって AutoPIPE をインストールしてください。
- ・プロキシサーバーが設定されているネットワーク環境の場合は、そのユーザ名とパスワードを入力するための画面が表示されます。それぞれを入力して「再試行」をクリックしてください。
- ・インストールディレクトリの画面では、「製品の言語を選択」から「日本語」を選択し、下段の「使用許諾契約書」をクリックし、別ウィンドウに表示される内容を確認してください。元の画面の「使用許諾契約書に同意します」の左側部分に ✓ を付けて、「次へ」をクリックして先へ進んでください。

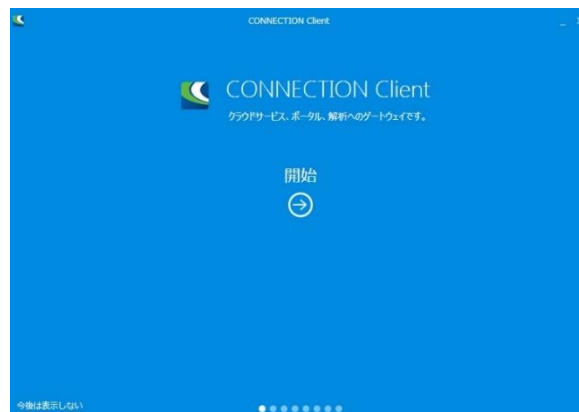
※) 容器とノズルの接合部の局部応力を計算する AutoPIPE Nozzle は、このバージョンから含まれないようになりました。AutoPIPE Nozzle を利用する場合は、AutoPIPE 2023 と旧バージョンの AutoPIPE CONNECT の両方をインストールしてください。

※) ADLPipe、SmartPlant (PCF)、PDS、ME101 等の配管モデルをインポートするトランスレータをインストールすることができます。これらのトランスレータはフリーソフトとして提供され、サポートの対象外となります。

※) トランスレータ等は「英語版」での提供となります。ヘルプ等も英語となります。

AutoPIPE のインストールが終了すると、Bentley のシステムにサインインするための CONNECTION Client のウィンドウがスクリーンの右下に表示されます。

以下の画面が表示されている場合は、画面中央の開始の矢印をクリックして、CONNECTION Client の機能の説明を一通り確認してください。(次画面以降は画面右下の矢印をクリックして先に進んでください)



Windows の現在のアカウントから一旦サインアウトして、再度 Windows にサインインしてください。

- ② 簡易アイソ図の出力を行う場合(任意)は、OpenPlant Isometrics Manager をインストールします。
- ・ダウンロードした Setup_OpenPlantIsometricsManagex64_10.11.00.175.exe をダブルクリックして、OpenPlant Isometrics Manager のインストールを開始します。
 - ・インストーラのガイドにしたがって OpenPlant Isometrics Manager をインストールしてください。
 - ・プロキシサーバーが設定されているネットワーク環境の場合は、そのユーザ名 (User name) とパスワード (Password) を入力するための画面が表示されます。それぞれを入力して「Retry」をクリックしてください。
 - ・次に表示される画面で、下段部分の「License Agreement」をクリックし、別ウィンドウに表示される内容を確認してください。元の画面の「I accept the End User License Agreement (使用許諾同意書に同意します)」の左側部分に を付けて、「Install」をクリックして先へ進んでください。

D. CONNECTION Client のサインイン

インストール後（Windows へのサインイン後）、ウィンドウの右下に、以下の「CONNECTION Client」の画面が表示されます。



※CONNECTION Client で「自動的にサインインする」を指定している場合は表示されません。当該機能はデフォルトでは ON に設定されているため、次回以降は自動的にサインインします。

※「接続の問題」のメッセージが表示され、サインインの入力画面が表示されない場合は、「E. CONNECTION Client でサインインできない」をご参照ください。

AutoPIPE v12 から導入された「SES ライセンス」と呼ばれるライセンスシステムでは、ユーザは上記の「CONNECTION Client」の画面から Bentley のシステムにサインインする必要があります。（サインインしていない場合、AutoPIPE 2023 を使用することはできません。）

Bentley から提供されたアカウント（E-mail アドレスになっています）を入力して「次へ」をクリックし、次にパスワードを入力して「サインイン」をクリックして、CONNECTION Client のサインインを行ってください。

※ IMS アカウントの追加登録について

管理者（Bentley から提供されたアカウントの方）は、以下のサイトから、CONNECTION Client にサインインするアカウントをユーザごとに追加登録することができます。

ユーザのアカウント管理のサイト：

<https://usermanagement.bentley.com/>

ユーザログイン ID の登録方法：

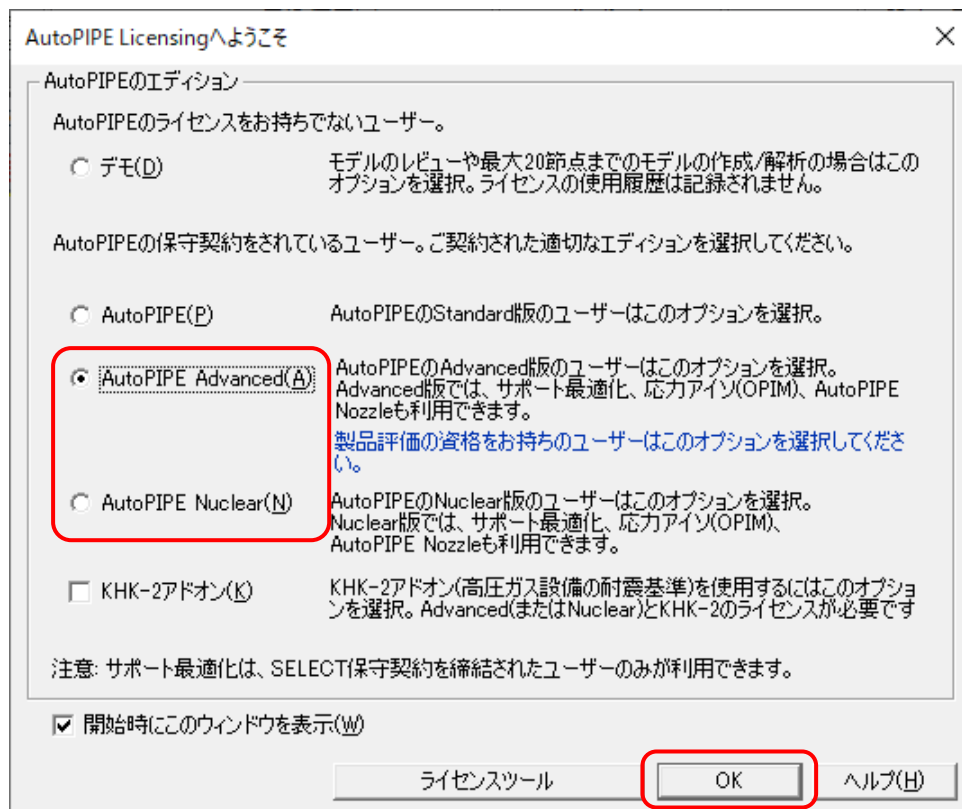
https://communities.bentley.com/products/microstation/w/microstation_-_wiki_jp/37494/00-bentley

E. AutoPIPE の起動

Windows のスタートメニューから、[Bentley Engineering] > [AutoPIPE 2023] を選択して、AutoPIPE を起動します。あるいは、デスクトップ上に作成された以下のショートカットアイコンからも起動できます。



以下の画面が表示されます。



AutoPIPE Nuclear のユーザは「AutoPIPE Nuclear(N)」をチェックしてください。それ以外のユーザは「AutoPIPE Advanced(A)」をチェックしてください。（「AutoPIPE(P)」は日本では販売していません。選択しないでください。）

(注意) ご購入・ご契約と異なるエディションを選択すると、課金の対象となりますのでご注意ください。

(注意) KHK-2 ユーザにおいて、KHK-2 コードを使用するモデルの場合には、「KHK-2 アドオン(K)」をチェックして AutoPIPE をスタートしてください。KHK-2 ユーザであっても他の配管コードを使用する場合は「KHK-2 アドオン(K)」のチェックは外しておいてください。

※) 上記のダイアログは、起動時以外にも、[ファイル] > [ライセンス] > [設定] コマンドで、いつでも表示させることができます。

F. CONNECTION Client でサインインできない

CONNECTION Client の画面において、以下のように表示されてサインインができない場合、また、サインインはできるが AutoPIPE がデモモードでしか起動しない場合は、プロキシサーバーの設定が適切に機能していない可能性があります。



・プロキシの再設定

Windows のスタートメニューから、[CONNECTION Client] > [Bentley Licensing Tool] を選択して、「Bentley ライセンスツール」の画面を表示させます。

[ツール] > [オプション]コマンドを実行し、[プロキシ構成]タブより、貴社のネットワーク環境に合わせてプロキシの設定を再度行ってください。

(※インターネットオプションのプロキシ設定において、自動構成等が使用されている場合、自動構成の中でプロキシに関する設定が行われている場合があります。ネットワーク管理者にご確認ください。)

設定後は、Windows の現在のアカウントから一旦サインアウトして、再度 Windows にサインインしてください。(あるいは、PC を再起動してください。)

・ログの送信

CONNECTION Client で Bentley のシステムへサインインし、「Bentley ライセンスツール」の画面を表示させ、[ツール] > [今すぐログを送信]コマンドを実行します。処理の進捗状況が画面の右上の方に表示されます。「ログを送信中」のあとに「ログを送信しました」のメッセージが表示されれば、接続完了です。AutoPIPE を起動し、ライセンスが正しく認証できるかを確認してください。

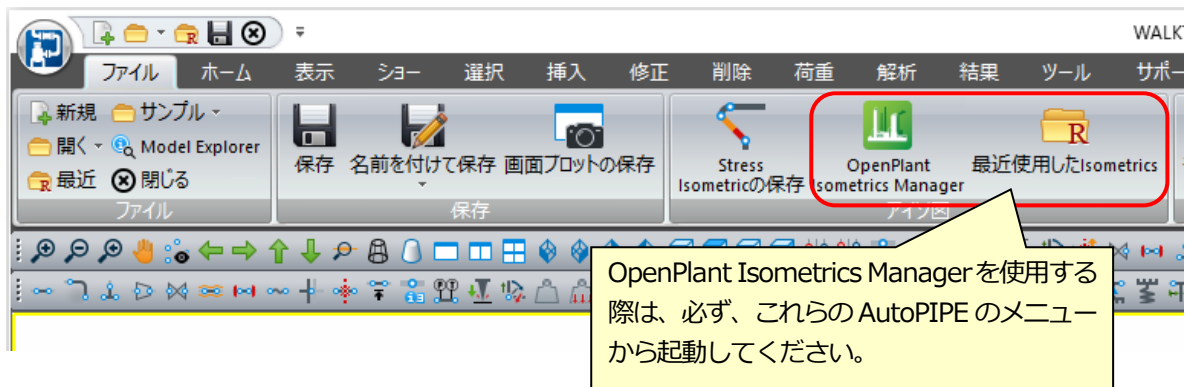
G. OpenPlant Isometrics Manager について

OpenPlant Isometrics Manager をインストールすることで、AutoPIPE のモデル形状などを簡易アイソ図 (StressISO) に出力することができます。

(※OpenPlant Isometrics Manager は、AutoPIPE とは独立した Bentley の販売製品です。)

OpenPlant Isometrics Manager には、「①AutoPIPE モデルの図面ファイルへの変換」、「②変換された図面ファイルの表示」の2つの役目があります。なお、②の図面ファイルの表示は、OpenPlant Isometrics Manager でなくても、他の CAD ソフトやビューワ等でも行うことができます。

OpenPlant Isometrics Manager を使用して図面ファイルの表示や編集を行う際は、必ず、以下の AutoPIPE の中にあるメニュー・コマンドから実行してください。(OpenPlant Isometrics Manager のライセンスを使用せずに、OpenPlant Isometrics Manager が起動します。)

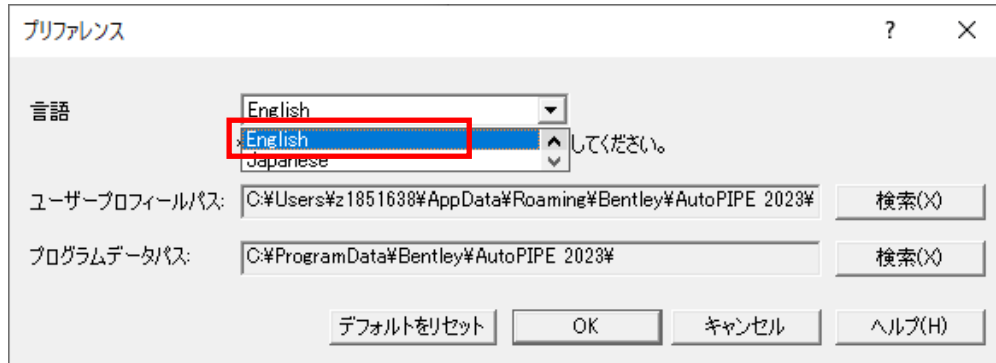


(注意) OpenPlant Isometrics Manager をインストールすると、スタートメニューやデスクトップ上に、ショートカットアイコン等が作成されますが、これらのアイコンを使って OpenPlant Isometrics Manager を起動した場合は、AutoPIPE とは別に OpenPlant Isometrics Manager を単独で使用した扱いとなり、課金の対象となりますのでご注意ください。

H. 表示言語の切り替え

メニュー・ダイアログ・レポート・ヘルプを英語で表示することができます。

[ツール] > [ツール] > [設定] > [プリファレンス]コマンドを実行し、“言語”の選択肢を開き、上へスクロールさせて English を選択し、OK ボタンでダイアログを閉じてください。そして、AutoPIPE を一旦終了させて、再度起動してください。



英語表示から日本語表示に戻す場合は、[Tools] > [Tools] > [Settings] > [Preferences]コマンドを実行し、“Language”から Japanese を選択してください。

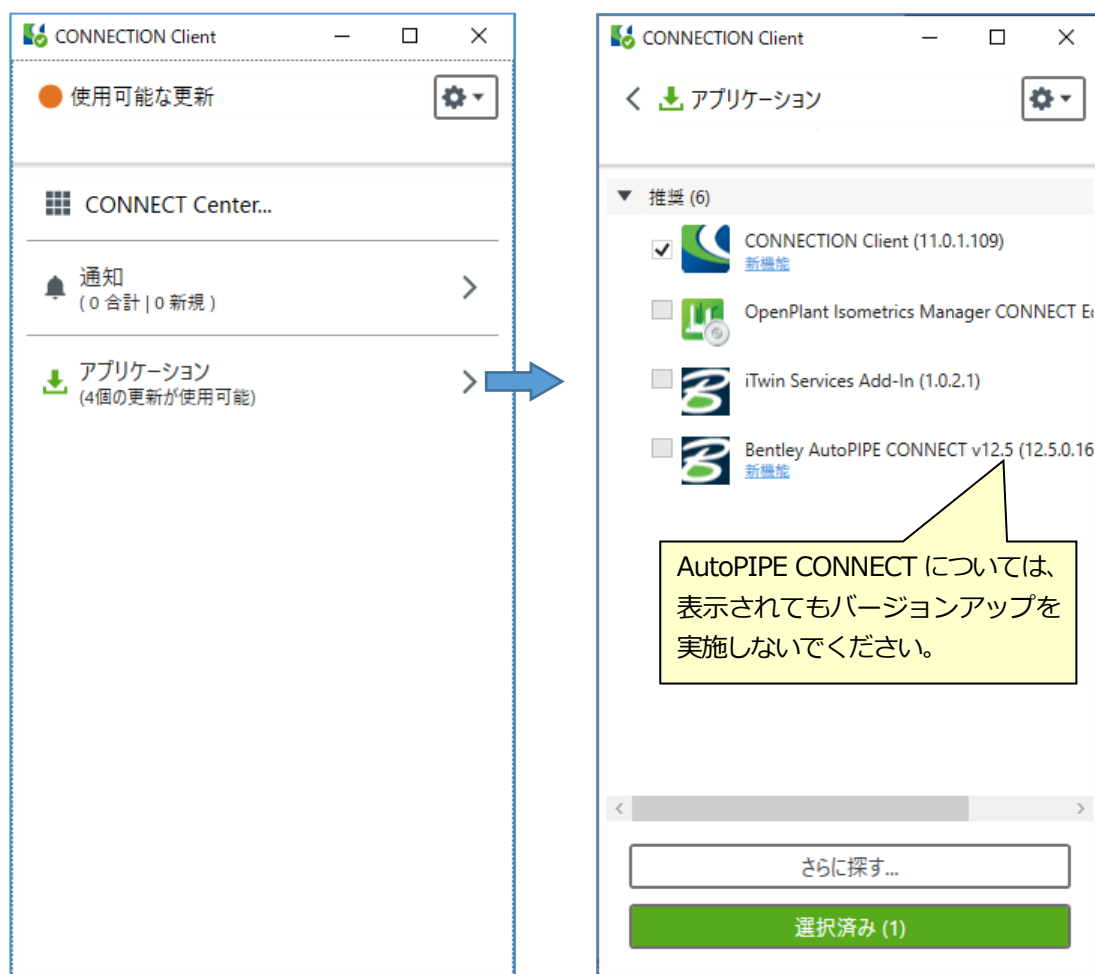
(注意) 日本語のヘルプは、「一部が翻訳されていない」、「最新の情報が記載されていない」等があります。最新の情報は、英語表示に切り替えて、英語のヘルプで確認してください。

I. アプリケーション更新の通知について

PC にインストールされているバージョンより新しいバージョンがリリースされている場合に、CONNECTION Client にその情報が通知されます。

旧バージョンの AutoPIPE CONNECT v12.4 以前では、CONNECTION Client が当該 PC にインストールされている AutoPIPE の言語を正しく認識できなかったため、CONNECTION Client に表示される更新にしたがって AutoPIPE をインストールすると英語版がインストールされてしまうことがありましたが、AutoPIPE 2023 ではインストールされている言語が正しく認識できるようになっています。

AutoPIPE 2023 と AutoPIPE CONNECT の両方がインストールされている場合、CONNECTION Client に AutoPIPE CONNECT の方の更新の通知が表示される場合がありますが、通知にしたがって AutoPIPE CONNECT を更新しないでください。AutoPIPE CONNECT の方をバージョンアップする場合は、ダウンロードサイトから適切な言語のモジュールをダウンロードしてください。



J. KHK-2 アドオンの追加購入について

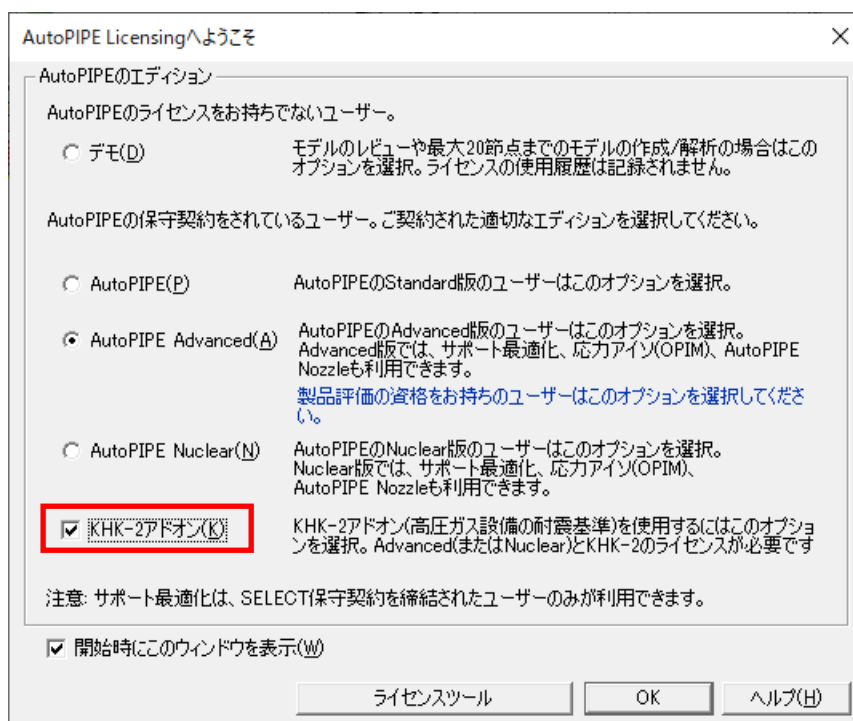
KHK-2 アドオンのライセンスをご購入されていなくても、AutoPIPE 本体をインストールした際に、KHK-2 のモジュールも自動的にインストールされています。KHK-2 アドオンの追加導入によって、AutoPIPE 本体のダウンロード・再インストールや KHK-2 アドオンのモジュールの追加インストールなどは必要ありません。

既存の AutoPIPE 上で、以下の設定を行うことで、KHK-2 アドオンが利用できるようになります。

KHK-2 アドオンの設定：

[ファイル] > [ライセンス] > [設定] コマンドを実行しますと、以下の画面が表示されます。(AutoPIPE 起動時に自動的に表示される場合もあります。)

KHK-2 コードを使用するモデルの場合には、「**KHK-2 アドオン(K)**」にチェックを付けて、OK ボタンを押してください。



(注意) ライセンス設定の変更が行われたことを示すメッセージ画面が表示されます。OK ボタンを押して閉じてください。

(注意) KHK-2 ユーザであっても、KHK-2 コード以外の配管コードを使用する場合は、KHK-2 アドオンのチェックは外しておいてください。

K. Nuclear 版へのアップグレードについて

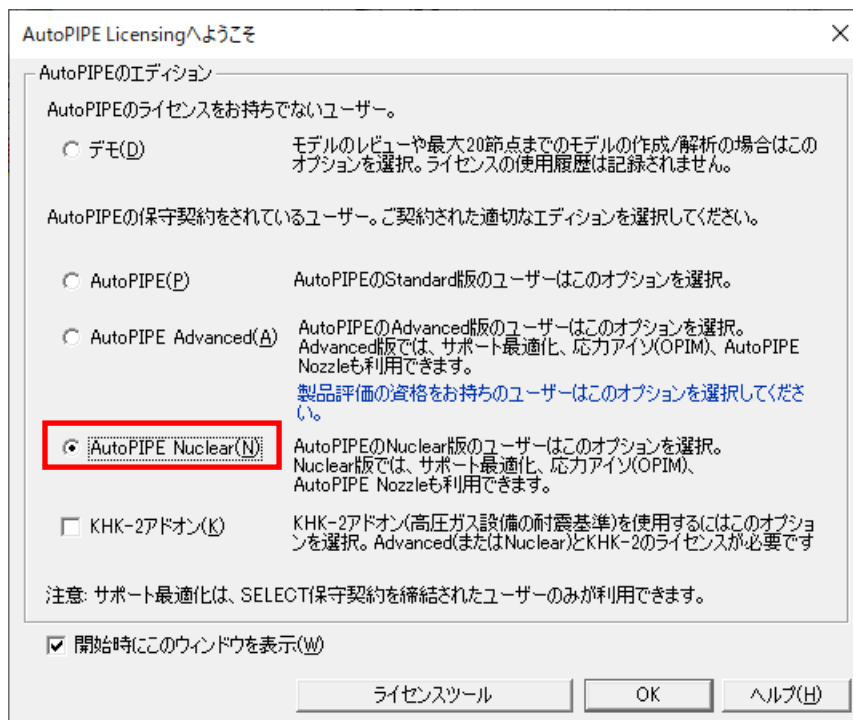
AutoPIPE Advanced から AutoPIPE Nuclear へアップグレードされた場合、AutoPIPE のダウンロードや、すでにインストールされている AutoPIPE Advanced のアンインストール等を行う必要はございません。

既存の AutoPIPE 上で、以下の設定を行うことで、AutoPIPE Nuclear が利用できるようになります。

AutoPIPE Nuclear 版の設定：

[ファイル] > [ライセンス] > [設定] コマンドを実行しますと、以下の画面が表示されます。(AutoPIPE 起動時に自動的に表示される場合もあります。)

「**AutoPIPE Nuclear(N)**」を選択して、OK ボタンを押してください。



(注意) ライセンス設定の変更が行われたことを示すメッセージ画面が表示されます。OK ボタンを押して閉じてください。

(注意) ご購入・ご契約と異なるエディションを選択すると、課金の対象となりますのでご注意ください。



<お問い合わせ窓口>

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

技術サポート用 E-mail: piping@ctc-g.co.jp